



自分だけの「こうなったらいいな」をつくろう！

～ 篠原 誠さんの魅力全開！ みんなでポジティブシンキング ～

私たち大人は、果たして子どもたちの「期待感」に応えられているのか、「ワクワク・ドキドキ」を創造できているのか、ほんの少し立ち止まって振り返り、また新たな一歩を踏み出す機会が必要なのではないかと考えました。

そこで思い立ったのが、津市のご出身で、今、日本で最もクリエイティブな仕事をされているディレクターの篠原誠さんを講師にお迎えすることでした。8月20日(月)、念願かなって伊勢に来ていただくことができました。

篠原さんの「もともとあったもの」の既成概念をくつがえす「意外性」や「発想力」はとても魅力的です。講演の中では、実際にテレビで放映されているCMを映像で見せていただきながら、作品に込められた「こうなったらいいな。」について熱く、爽やかに語っていただき、たくさんの「ワクワク・ドキドキ」を体感することができました。「新たな気付きを得て、元気になった。」という皆さんからの意見をたくさんいただき、忘れられない講座になりました。



篠原 誠さん
三重県津市(旧 美杉村)出身。電話会社の三太郎CM・家庭教師派遣会社のハイジCMなど、たくさんの有名CMを手がけるほか、「海の声」「やってみよう」「みんなが英雄」などの楽曲も作詞。
会場：「ハートブラザミその」

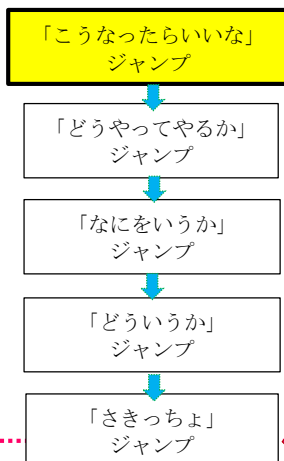
< 語録その1 >

「あらゆる仕事には意味がある。なければ自分でつくればいい」

もしも本意ではない仕事をしていると感じたときは、自分で仕事の目的や行き先をつくれればよい。例えば、石切り場の仕事をしていたとして、ただ石を切る仕事ととらえるのではなく、自分の切り出した石が橋になると考えれば、意味付けが明確になる！

< 語録その2 >

「自分だけの「こうなったらいいな」というゴールを描くこと」



CMを作成するときは、その商品やブランドが「こうなったらいいな」というゴールを先ず考え、それを目撃したアウトプットの発想で取り組む。

- 「こうなったらいいな」は1つに決める。いくつも考えるが目的地は1つに絞る。
- クライアントには「こうなったらいいな」は言わない。自分の頭の中に置いておく。
- 自分の案が採用されなかったときは、「仕方がないな。」と切り換える。

篠原さんのCM作成の流れ



< 語録その3 >

「**「こうなったらいいな」を途中で変えることもあり!**」

うまくいかないとき、さらによい考えにたどりついたときは、思い切ってディレクション（方向・指示）を変える。

♪メッセージ♪

子どもたちは
みんながみんな英雄



< 語録その4 >

「**「期待感」×「変化球」を意識する**」

情報の受け手の「期待感」と「変化球（その期待を超える次の値打ち）」を大切にしたい。

〔例〕三太郎CM作成の場合

- 3人の太郎が友だち同士だったらどうか、人柄においてもイメージを壊してみようと発想した。
- 次のCMで登場人物がどのような物語を紡ぐか、期待感につながる伏線（予告）が仕込まれている。

< 語録その5 >

「**「人生に答えはたくさんある。「考える・選ぶ・やってみる」ことが大切である**」

自分はどうしたいのか、何をチョイスするか、確信をもつべし。ここの一番、頑張らなければならぬとき、自分で選んだことをやってみる。何よりも「選ぶ」ことが大事。

< 語録その6 >

「**「やってみよう!**」

やってみることは怖いけれど、人生は立ち止まっても逃げ出してもいい。またやり始めたらいいだけのこと。「人生いろいろ」と思って、ニュートラルしていると気持ちが楽になる。

< 語録その7 >

「**「3年もすれば忘れる!**」

嫌なこと、失敗することがあっても、3年もすれば忘れてしまう。それでも心に残っていたら、それは思い出でもあると思おう!



100本を超えるCM…篠原さんが目指すものは「こうなったらいいな」の実現です!

私たち教職員にも熱いメッセージをくださいました。「教職は尊い仕事です。『自分自身の思う教育』『自分だけの《こうなったらいいな》』を見つけてください。」と。

それぞれの「こうなったらいいな。」の実現に向けて、心新たに子どもたちに向き合いたいと感じた夏の終わりでした。

Voice

- ・CMの世界、それを生み出す力ってすごい!篠原先生ってすごい!!夏休みの研修、こんなのもいいです!2学期からの元気、出せそうです。子どもたちにも話ができます。研究所のみなさんありがとう。
- ・日々の授業もそうですが、やはりブレない一つの目標「こうなったらいいな」は必ず持つておく必要があると感じました。目的を決めた上で逆算してCMを作っていくことは、授業づくりと似ているところがあると感じました。ブレないものがあれば良いものができていくとも感じました。
- ・CMづくりと教育は全く違うようだけど、教育にあてはめて考えると…子どもたちにあてはめて考えると、とても納得できることばかりでした。9月に子どもに会えるのが楽しみです。
- ・篠原さんのお話、最初から最後まで本当に魅力的で、普段よく見ていたコマーシャルにこんなメッセージが込められていたのが分かって何度も胸が熱くなりました。とても力が湧いてきました。今日、篠原さんからもらった元気を、よく考えるということ、9月から私も教室で子どもたちに伝えていきたいです。

- ・「アイデアは浮かばない、考えるもの。脳は使わないと考えられなくなる。とにかくほる、ほる、ほる…のイメージ」という言葉が印象に残りました。授業を作っていく中にも共通の所がたくさんあると思います。また、お蔵入りしても「仕方ない」として切り替えていくところを見習いたいと思いました。
- ・異業種の方の話聞く機会は、自分の幅を広げる大切なものだと思います。今回の研修講座はとてつよい企画を入れてくださったと思いました。
- ・楽しかったです。自分の“こうなったらいいな”をしっかりと“考えたい”と思います。いろいろな選択の場面で、その選んだことに自信が持てるようにしていきたいです。
- ・面白いけれど、深いお話だったと思います。このように素晴らしい方が三重県出身でいらっしやっただとは…。専門的な講座も自己研鑽に大切ですが、今回のような自己啓発も大切だと感じました。
- ・とてもポジティブになれる話でした。自分の目標に迷わず進んでいこうという気持ちになりました。

